

高度利用者向け緊急地震速報専用受信ソフトウェア

「SignalNow Professional」

取扱説明書

第1版



ストラテジー株式会社

## 目次

1. 「SignalNow Professional」とは.....	1
2. 利用条件 .....	1
3. 動作環境 .....	1
4. インストールの前に.....	2
5. インストール.....	2
5.1. ファイルの解凍.....	2
5.2. ソフト電池のインストール.....	3
5.3. SignalNow Professional 本体のインストール.....	5
5.4. インストールの実行.....	6
6. アプリケーションの起動とログイン .....	9
7. 設定 .....	10
7.1. 所在地 .....	10
7.2. ポップアップ表示条件 .....	11
7.3. 動作詳細.....	12
7.4. 訓練 .....	13
7.5. ネットワーク.....	14
8. 地震ポップアップ画面について .....	15
9. 発生した地震.....	17
10. バージョン情報 .....	17
11. ログ書出し.....	17
12. 自動ログイン .....	17
13. 終了.....	17
14. アンインストール.....	18
15. SignalNow Professional のテクニカルサポートについて.....	19

## 1. 「SignalNow Professional」とは

気象庁から配信される高度利用者向け緊急地震速報（予報）により、設定地点の予測震度、到達秒数を計算し、警報音と表示でお知らせします。

SignalNow Professional は、タスクトレイに常駐し、緊急地震速報を受信すると、演算が行われ、結果が設定条件に満たした場合に、「震源地のマグニチュード」、「設定地点までの到達秒数」、「設定地点の予測震度」をポップアップ表示します。

## 2. 利用条件

SignalNow Professional の使用には、弊社の販売特約店である小林洋行コミュニケーションズの SignalNow Professional ホームページよりプログラムをダウンロードし、インストールマニュアルの起動設定手順をご覧ください、セットアップを行ってください。

試用期間(7 日間)ののち、ソフト電池(365 日間)をご購入いただきますとご利用になれます。ダウンロードしたソフトのインストールには、送付したライセンスキーの入力が必要になります。

(※ご購入後、ライセンスキーをお送りいたします。)

## 3. 動作環境

対象OS	Windows 7 (32 ビット版 および 64 ビット版) Windows Vista (32 ビット版 および 64 ビット版) Windows XP (32 ビット版のみ) (※日本語版のみ)
CPU／メモリ	ご使用のOSの動作条件の推奨スペック以上
ディスプレイ	1024 ドット×768 ドット 以上の表示サイズを推奨
必要環境	.NET Framework 3.5 SP1 Windows Media Player 11 以上 Web ブラウジングが可能なインターネット環境があること。

(※64 ビット版 Windows の場合は、WOW64 環境下で動作致します。)

この取扱説明書での画面の例や名称などは Windows XP のもので記載しております。Windows 7 および Windows Vista をお使いの方は、適宜、読み替えて頂きますようお願いいたします。

## 4. インストールの前に

必ず、お使いの P C の時計を正確な状態に保ってください。秒単位での誤差が、そのまま地震到達までの予測秒数の誤差になってしまいます。お使いのパソコン環境に合わせて、タイムゾーンの確認・インターネット時刻サーバーと同期するなど、必要に応じて NTP クライアントソフトウェア等をご利用ください。

以前のバージョンの SignalNow Professional をお使いだった方は、古い SignalNow Professional を必ずアンインストールしてください。

アンインストールについては、「1 4. アンインストール」の章を参照してください。

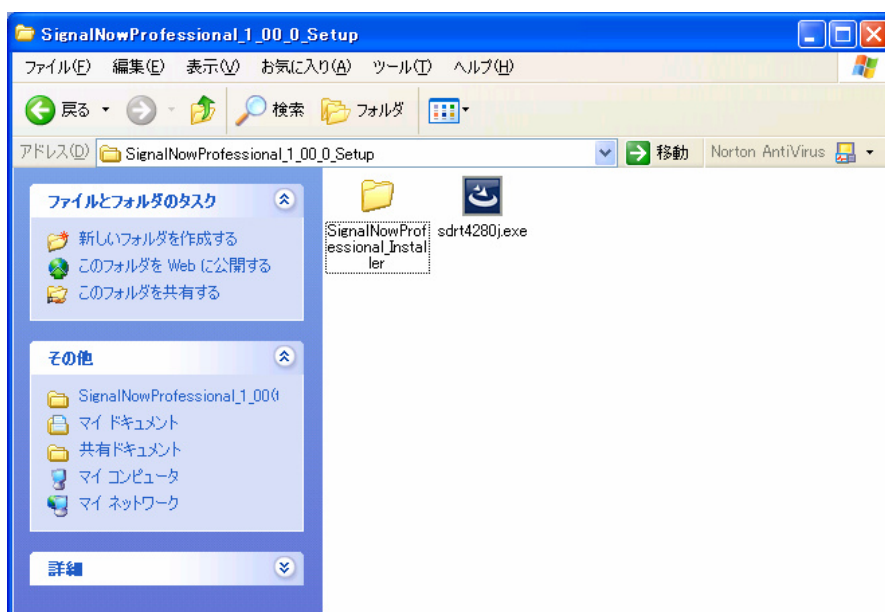
## 5. インストール

### 5.1. ファイルの解凍

ダウンロードした zip ファイルを任意の場所に解凍してください。

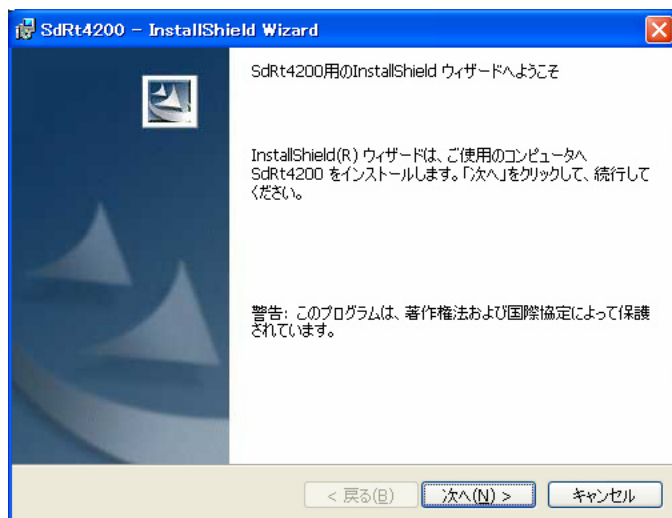
解凍すると、「SignalNowProfessional\_x\_xx\_x\_Setup」フォルダが作成されます。

※ フォルダ名の x\_xx\_x は、バージョン番号

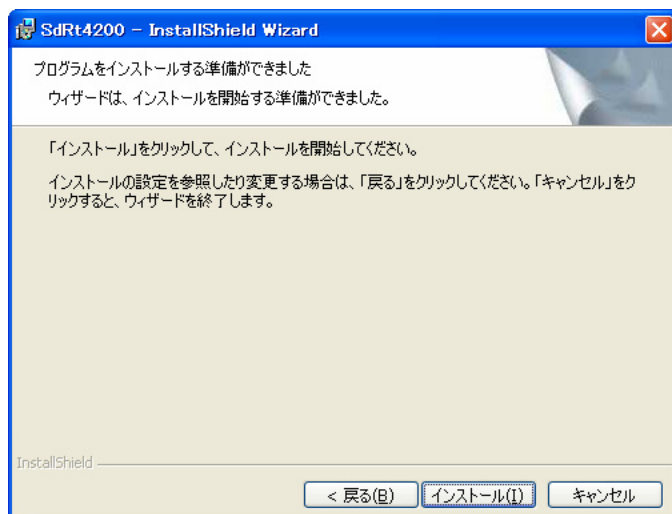


## 5.2. ソフト電池のインストール

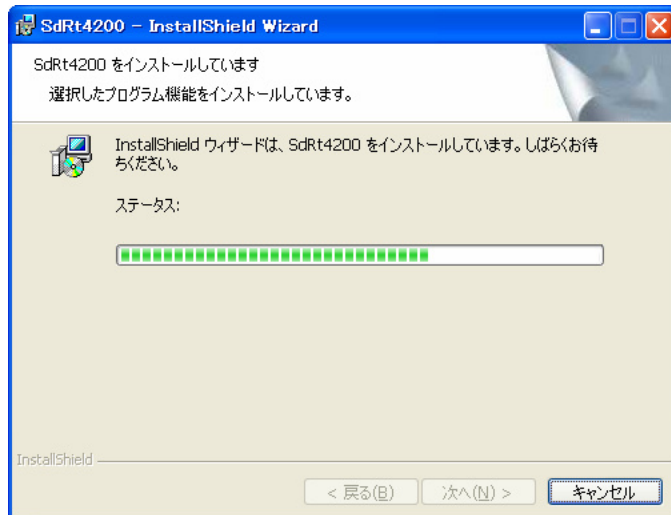
はじめにソフト電池のインストールを行ってください。  
フォルダ内にある、「sdr4280j.exe」を実行してください。



「次へ」を押します。



「インストール」を押します。



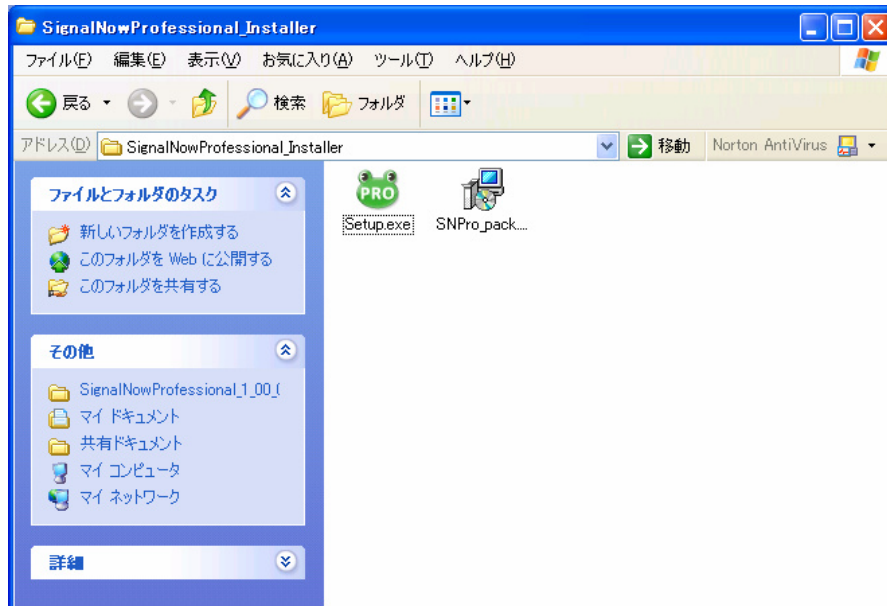
インストールが開始されます。



「完了」を押します。

### 5.3. SignalNow Professional 本体のインストール

「SignalNowProfessional\_Installer」フォルダを開いてください。



Setup.exe がインストーラーの本体です。

**SNPro\_pack.msi は直接実行しないで下さい。**

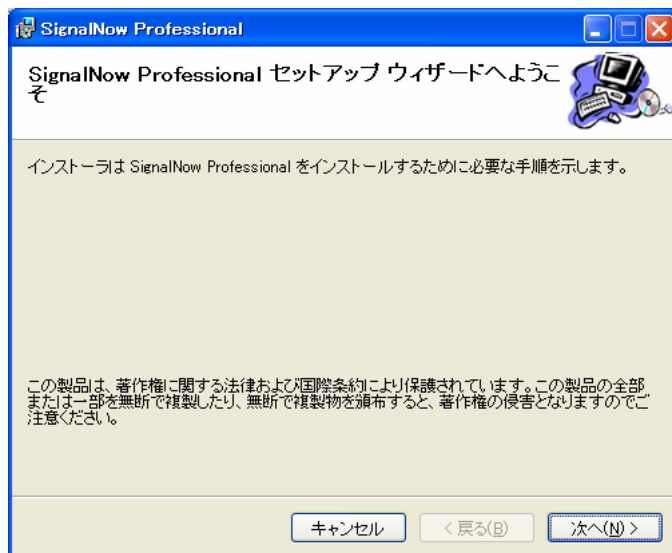
もし、SNPro\_pack.msi を直接実行してインストールしてしまうと、無料の試用期間が使えなかったり正式購入が出来ない等の障害が発生します。

もし間違えてインストールしてしまった場合は、一旦アンインストールしてから、再度インストールをやり直して下さい。

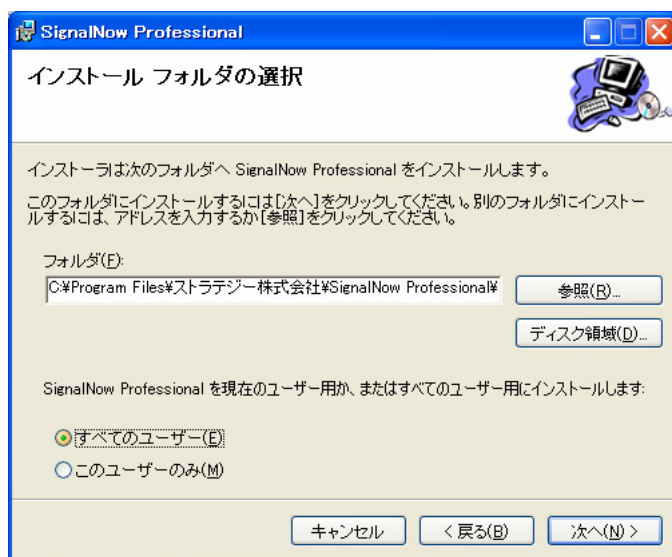
※SignalNow Professional は、インストール時の 32 ビット版 Windows 用と 64 ビット版 Windows 用の区別はありません。64 ビット版 Windows の場合は、WOW64 環境下で動作致します。

#### 5.4. インストールの実行

「setup.exe」を実行してください。



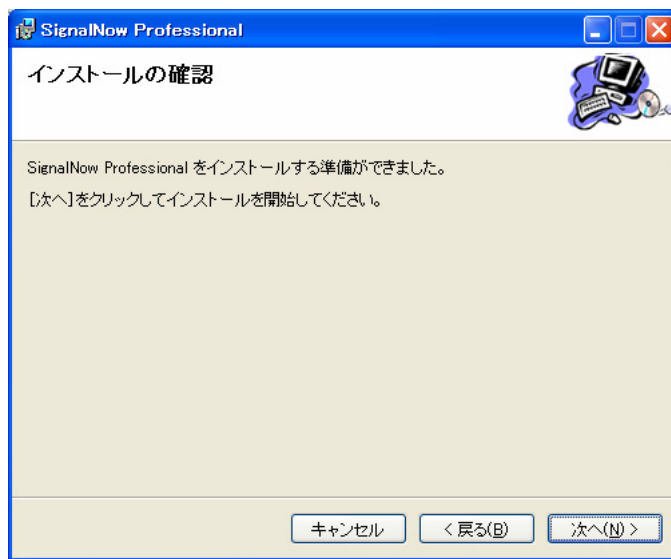
「次へ」を押します。



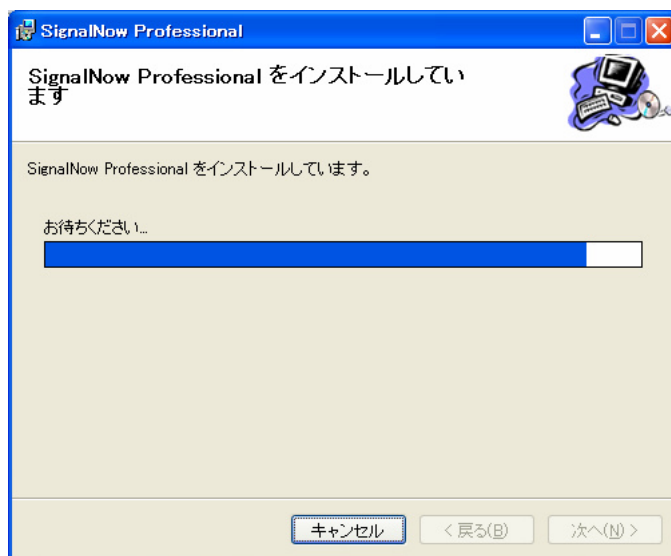
「次へ」を押します。

(インストール先のフォルダを変更したい場合は、任意のフォルダを指定してください。)

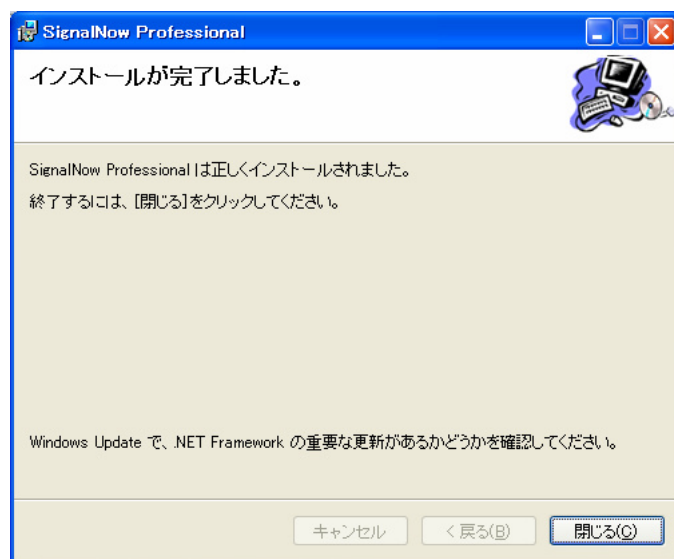




「次へ」をクリックするとインストールが開始されます。



完了するまでそのまま待ちます。



「閉じる」を押して下さい。 これでインストールは完了です。

## 6. アプリケーションの起動とログイン

- (1). インストール完了後に、デスクトップ上の SignalNow Professional アイコンをダブルクリックして実行してください。
- (2). ログイン画面が起動しますので、「ソフト電池メータを開く」ボタンを押してください。



※「SignalNow Professional」のご利用には、ソフト電池の購入が必要です。購入方法については、「<http://www.soft-denchi.jp/comdocs/a010.html>」を参照してください。

- (3). ソフト電池購入手続きが完了したら、「サーバーへログインを開始」ボタンを押します。  
※パソコン起動時に常に自動ログインさせたい場合は、「自動でログインする」にチェックを入れておいてください。
- (4). アプリケーション起動後、「タスクトレイ」上の SignalNow Professional アイコンが表示されれば、プログラムは動作中です。SignalNow Professional アイコンが緑になっていれば、正常にサーバーと通信が出来ている状態です。赤になっている場合は、サーバーと正常に通信が出来ていません。通信回線等の確認をしてください。



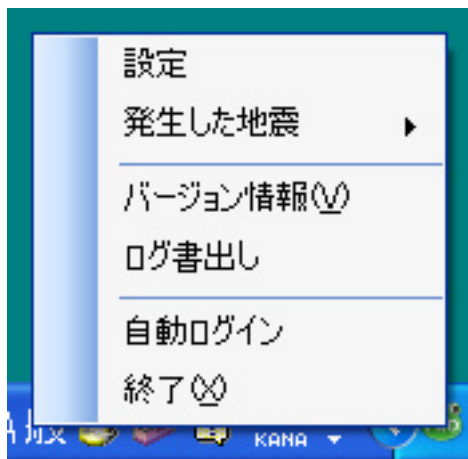
正常通信状態



通信異常状態

## 7. 設定

設定を行う場合は、タスクトレイ上の SignalNow Professional アイコンを右クリックし、メニューを表示後、「設定」を左クリックしてください。



### 7.1. 所在地

「地盤増幅率取得ページ URL:<http://www.estrat.co.jp/getlocationdata/>」をクリックし、Web サイトにアクセスしてください。

Web サイト上の「地盤増幅率の取得方法」にしたがって、地盤増幅率を取得し、「緯度」、「経度」、「地域コード」、「地盤増幅率」の入力を行ってください。

設定が完了したら、「設定を登録」ボタンを押してください。

## 7.2. ポップアップ表示条件

### (1). ポップアップ表示する地震の条件

表示する地震のマグニチュードと予測震度の条件を選択します。

※ この2つ閾値の設定は、OR条件としての判断となります。

例えば、「震源地マグニチュード」の設定を 1.0 にし、「所在地予想震度」の設定を 4 としていた場合、マグニチュードが 1.0 以上の地震であれば、たとえ予測計算による予想震度が 3 であってもポップアップ表示されます。

※ 予想震度による閾値のみでの動作を希望される場合は、「震源地マグニチュード」の設定を最高値に設定してご使用ください。

### (2). 使用するデータの確からしさ

気象庁から送られてくるデータのうち、どの精度から使用するかを選択します。

「早さ優先」は、データ精度がテリトリ法1点以上のものから使用します。この場合、ポップアップ表示するタイミングは最も早くなりますが、まだ精度が不十分な時点のデータの為、誤報の可能性が高くなります。

「精度優先」は、データ精度がテリトリ法2点以上のものから使用します。この場合、誤報の可能性は低くなりますが、ポップアップ表示するタイミングは遅れる場合があります。

(※ 気象庁では複数観測点に基づいたデータの使用を奨励している為、後者の「精度優先」を選択しておくことを推奨致します。)

設定が完了したら、「設定を登録」ボタンを押してください。

The screenshot shows a software window titled '設定' (Settings) with a blue header bar. Inside, there are several tabs: '所在地(予想地点)', 'ポップアップ表示条件' (selected), '動作詳細', '訓練', and 'ネットワーク'. Below the tabs, a text box states: '算出した予測震度(※1)が 0.0 より大きい場合に、次の条件に基づきポップアップ表示します。' (When the calculated predicted seismicity (※1) is greater than 0.0, it will be displayed based on the following conditions). Below this, there are two dropdown menus: '震源地マグニチュード' (Set to 10.0) and '所在地予想震度(震度階級)(※2)' (Set to 3). A note box contains: '※1 内部計算により求められた小数での数値です。この数値を元に予想震度を決定します。' and '※2 震度の計算数値と震度階級の関係については気象庁のホームページの「計測震度の算出方法」のページを参考ください。' (Please refer to the 'Calculation Method of Measured Seismicity' page on the Japan Meteorological Agency's homepage for the relationship between seismicity calculation values and seismicity levels). Below the note box, there is a section titled '使用するデータの確からしさ' (Reliability of data to be used) with two radio buttons: '早さ優先 (テリトリ法1点 以上)' (selected) and '精度優先 (テリトリ法2点 以上)'. At the bottom of the window, there are three buttons: 'ログを消去する' (Erase log), '設定を登録' (Register settings), and 'キャンセル' (Cancel). The SignalNow Professional logo is visible in the bottom left corner.

### 7.3. 動作詳細

#### (1). 報知音量

スライダーを左右に動かして動作時の音量を調整が行えます。

「テスト再生」ボタンで音量の確認が行えます。

#### (2). 地震到達後の報知音の継続時間

地震が到達してから報知音を継続する時間を秒単位で設定します。

希望の秒数を0秒～20秒の範囲で設定してください。

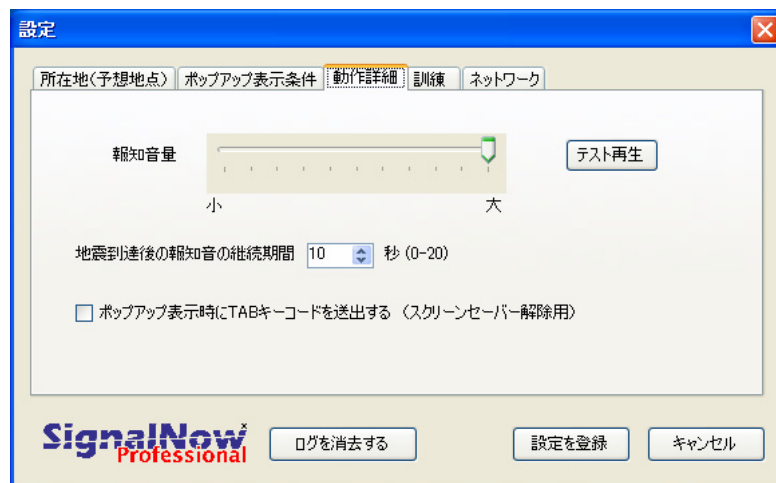
(※ 気象庁では、地震到達後も報知を10秒程度継続することを奨励しています。)

#### (3). ポップアップ表示時に TAB キーコードを送出する

「ポップアップ表示時に TAB キーコードを送出する」にチェックを入れるとスクリーンセーバ作動時にもポップアップ表示がされます。

チェックが入っていない場合、スクリーンセーバ動作時には、ポップアップ表示をしても、スクリーンセーバが解除されません。

設定が完了したら、「設定を登録」ボタンを押してください。



#### 7.4. 訓練

「訓練を実施する」にチェックを入れると訓練動作を実施します。

訓練猶予秒数と訓練予想震度を指定してください。

即時（1 分後）に行いたい場合は、「即時（1 分後）」のラジオボタンを選択してください。

それ以降に行いたい場合は、「スケジュール」のラジオボタンを選択し、訓練を行いたい日時を指定してください。

設定が完了したら、「設定を登録」ボタンを押してください。

The screenshot shows the 'SignalNow Professional' settings window with the '訓練' (Training) tab selected. The window has a blue title bar and a tabbed interface with tabs for '所在地(予想地点)', 'ポップアップ表示条件', '動作詳細', '訓練', and 'ネットワーク'. The '訓練' tab is active, showing a checkbox for '訓練を実施する' (Execute training) which is unchecked. Below this, there are two fields: '訓練猶予秒数' (Training lead time) set to '20' seconds (range 0-100) and '訓練予想震度' (Training predicted seismic intensity) set to '3' (range 震度階級). Under the '訓練開始時刻' (Training start time) section, the '即時(1分後)' (Immediate (1 minute later)) radio button is selected, and the 'スケジュール' (Schedule) radio button is unselected. A date and time picker shows '2011年09月27日 12:34:22'. At the bottom, there are three buttons: 'ログを消去する' (Erase log), '設定を登録' (Register settings), and 'キャンセル' (Cancel). The 'SignalNow Professional' logo is visible in the bottom left corner of the window.

## 7.5. ネットワーク

プロキシサーバーを利用している場合は、こちらの設定から行ってください。

「プロキシサーバーを使用する」にチェックを入れます。

「サーバーアドレス」に、プロキシサーバーのアドレスを入力してください。

「ポート」にプロキシサーバーのポート番号を入力してください。

プロキシサーバーにて、ベーシック認証を行っている場合は、「ベーシック認証」に変更してください。

「認証ユーザー名」にプロキシサーバーのユーザー名を入力してください。

「認証パスワード」にプロキシサーバーのパスワードを入力してください。

設定が完了したら、「設定を登録」ボタンを押してください。

設定

所在地(予想地点) ポップアップ表示条件 動作詳細 訓練 ネットワーク

プロキシ設定

☒ プロキシサーバーを使用する

サーバーアドレス  ポート

☒ 認証なし

☐ ベーシック認証

認証ユーザー名  認証パスワード

SignalNow Professional

ログを消去する 設定を登録 キャンセル

※ プロキシサーバーの情報については、ご使用のネットワークの管理者（システム責任者）にお問い合わせ願います。



## 8. 地震ポップアップ画面について

緊急地震速報を受信すると、「SignalNow Professional」がポップアップし、以下のような緊急地震情報が表示されます。

地図上の青の㊦マークが震源地を示しています。

地図上の赤の建物マークが設定した所在地になります。

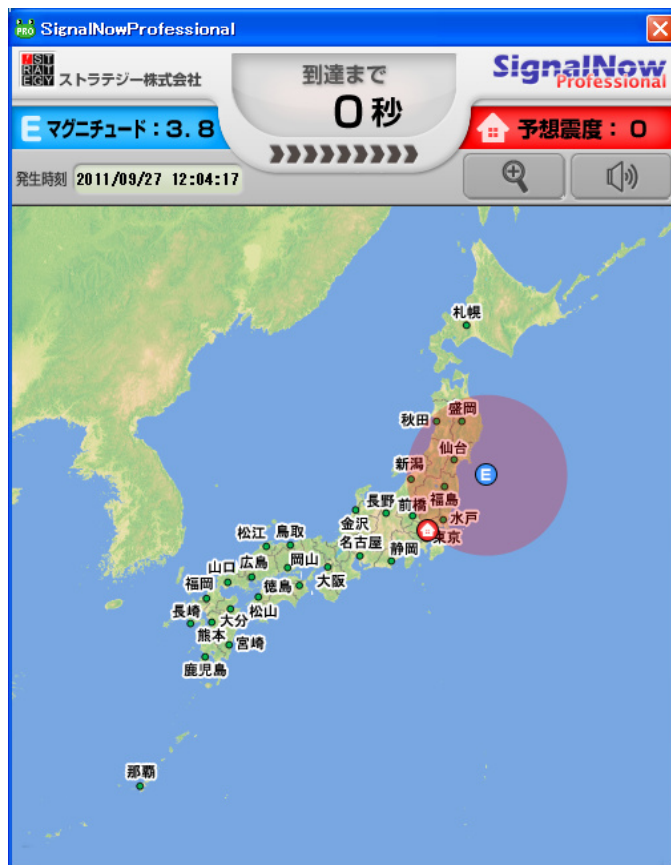
画面左上の青の「㊦マグニチュード」は、震源地のマグニチュードを表しています。

画面右上の建物マークの「予想震度」は、設定した所在地での予測震度を表しています。

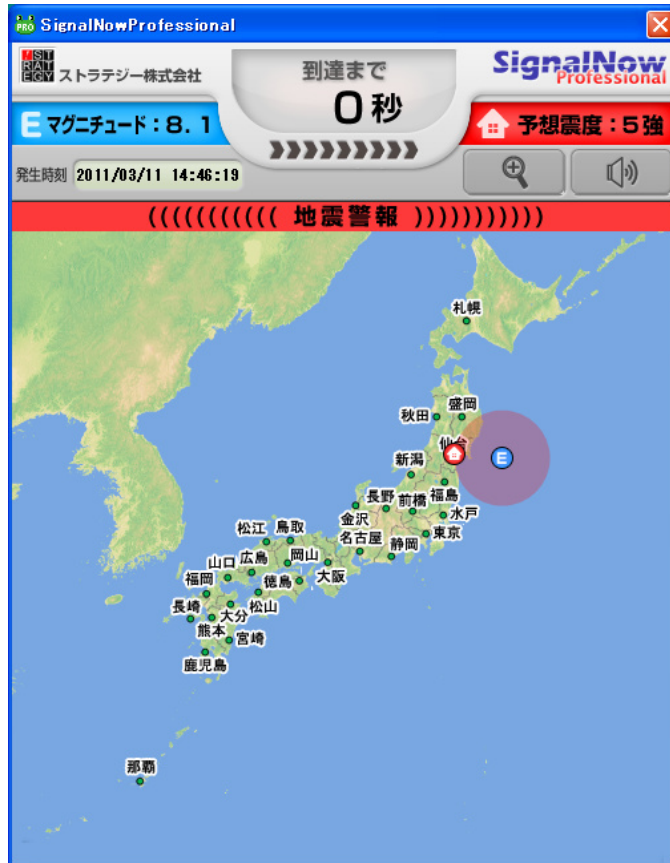
画面上部中央の「到達まで」の秒数表示は、地震到達までの秒数をカウントダウンします。

地震到達まで秒数のカウントダウン中に、報知音を止めたい場合は、画面右上の赤い「予想震度」の下にある「スピーカー」ボタンを押します。

「スピーカー」ボタン左隣にある「虫眼鏡」ボタンを押すと、+マーク時には、地図の拡大、-マーク時には、地図の縮小表示をします。



また、設定した所在地が気象庁から発表されている警報エリアに該当していた場合は、「地震警報」という表示が地図領域の上部に示されます。



## 9. 発生した地震

過去に発生した地震を再表示させるには、タスクトレイ上の SignalNow Professional アイコンを右クリックし、メニューを表示後、「発生した地震」にマウスカーソルを合わせ、横にリストアップされたリストの中から押してください。

設定されたポップアップ表示条件を満たしていない為にポップアップ表示しなかった地震も含めて、過去に発生した 5 回分の地震情報をポップアップ再表示します。

各地震について、気象庁からの最終報での情報で表示します。

## 10. バージョン情報

バージョン情報の確認を行う場合は、タスクトレイ上の SignalNow Professional アイコンを右クリックし、メニューを表示後、「バージョン情報」を押してください。

現在インストールされているプログラムのバージョン情報を表示します。

## 11. ログ書出し

SignalNow Professional が記録しているログをテキストファイルに書き出します。

## 12. 自動ログイン

SignalNow Professional を起動したときに、サーバーへのログインを自動で行わせるときに、ここをチェックが入った状態にします。

ログイン画面で正しいライセンスキーが入力されている状態であれば、ログイン画面が表示されてから約 2 秒後に自動的にサーバーへのログイン処理を開始します。

## 13. 終了

プログラムの終了を行う場合は、タスクトレイ上の SignalNow Professional アイコンを右クリックし、メニューを表示後、「終了」を押してください。

プログラムの常駐を終了します。

## 14. アンインストール

SignalNow Professional がタスクトレイに常駐している場合は、プログラムの終了を行ってからアンインストールしてください。

終了方法については、「13. 終了」の章を参照してください。

「コントロールパネル」から「プログラムの追加と削除」を開いてください。

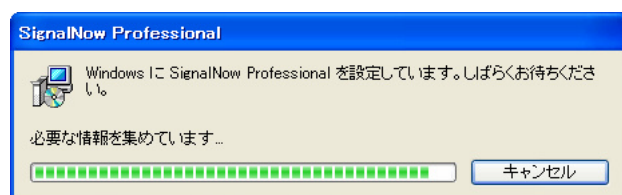


「削除」を押してください。



「はい」を押してください。

SignalNow Professional のアンインストールが開始されます。



## 15. SignalNow Professional のテクニカルサポートについて

SignalNow Professional のテクニカルサポートは、

小林洋行コミュニケーションズ SignalNow Professional 専用 お問い合わせメール窓口	info-sn@kobayashiyoko-com.jp
小林洋行コミュニケーションズ SignalNow Professional 公式サイト	<a href="http://www.kobayashiyoko-com.jp/sn/">http://www.kobayashiyoko-com.jp/sn/</a>

をご利用ください。

ストラテジー株式会社

〒275-0016 千葉県習志野市津田沼 2-3-28

第二川島ビル 1 階

URL: <http://www.estrat.co.jp/>